

彦根市新型コロナウイルス感染症対策

掲載している情報は7月20日時点のものです。状況により、掲載内容は変更となる場合があります。

企業・個人事業主への支援

(仮称)ひこねイチチケットキャンペーン 参画店舗を募集

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、急激に冷え込んだ観光需要を喚起して地域経済を回復させるため、「彦根城などの観光施設の入場券」と「市内の飲食店・土産店などで使える商品券」とがセットになったチケットを観光客に向けて発行します。それに伴い、次のとおり参画店舗を募集します。

📅 8月4日(火)～同16日(日)

📍 市内で観光客に飲食・土産の提供・販売を行う店舗や観光体験施設

📄 彦根観光協会ホームページ（専用応募フォーム）
(<https://www.hikoneshi.com/shopentry>)

※専用応募フォームは、8月3日(月)から公開します。

※右上のQRコードからもアクセスできます。参画条件やチケットの精算方法などは、同協会ホームページからご確認ください。

📞 (公社)彦根観光協会 ☎ 23-0001 📠 26-1919



彦根市新型コロナウイルス感染症対策 経営力強化補助金【市独自】の 補助対象期間を4月1日から にしました！

＜補助対象期間＞

【変更前】令和2年5月14日～同8月31日

【変更後】令和2年4月1日～同8月31日

📍 市内に事業所を有する事業者のうち、新型コロナウイルス感染症対策として設備投資（空気清浄機や衝立の購入、換気扇や自動水栓の設置など）をした事業者

※上の期間内に購入・設置された設備が対象

💰 金額 最大10万円

📄 申請方法 必要書類を郵送または直接窓口

📅 申請期限 9月15日(火) (当日消印有効)

📍 問 地域経済振興課 (〒522-8501元町4-2)

☎ 30-6119 📠 24-9676

メールやアプリでも

コロナ関連情報を発信しています

※いずれも通信料のみ利用者負担となります。

彦根市メール配信システム

災害・防犯・火災情報などを配信します。【touroku@hikone-city.jp】に空メールを送信して登録！

詳しくはこちらをご覧ください。
(彦根市ホームページQRコード)



アプリ「Yahoo!防災速報」

避難情報や気象情報、地震情報などをプッシュ通知します。

【ダウンロード用QRコード】



▲ Android版



▲ iPhone版

彦根市公式アプリ「ひこまち」

彦根市メール配信システムや彦根市ホームページと連携し、情報をプッシュ通知します。

※画面イメージ



【ダウンロード用QRコード】



▲ Android版



▲ iPhone版

📍 シティプロモーション推進課

☎ 30-6103 📠 22-1398

📍 危機管理課 ☎ 30-6150 📠 23-1777

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止

緊急アンケート 調査結果

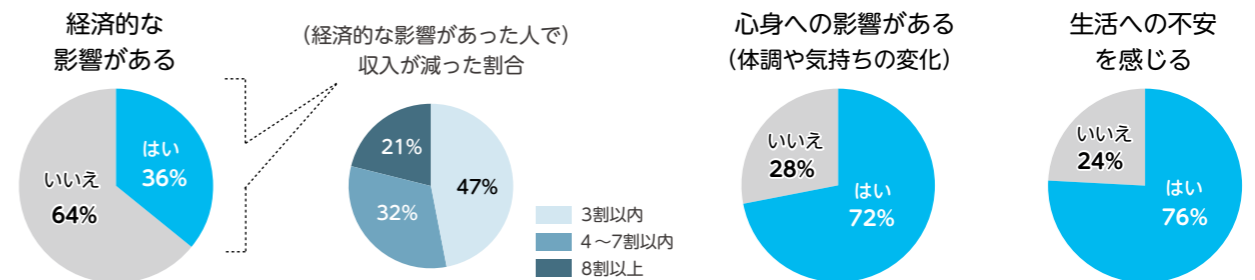
新型コロナウイルス感染症による市民生活への影響などを把握し、今後の施策構築の参考とするため、広報ひこね5月1日号と彦根市ホームページを活用したアンケートを実施しましたので、その結果をお知らせします。

📍 市民生活・経済再生支援室 ☎ 30-6153

【実施期間】5月1日～6月30日

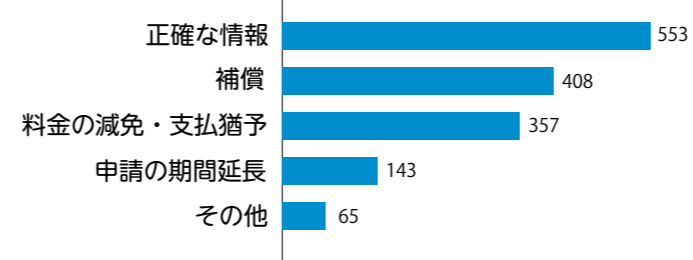
【回答数】867件

Q.1 新型コロナウイルス感染症により、あなたにどのような影響が出ていますか？（複数回答可）



Q.2 新型コロナウイルス感染症により、あなたが

今（もしくは収束したとき）、求める支援は何ですか？（複数回答可）



今回のアンケート調査結果は、新型コロナウイルス感染症対策の市独自事業などの参考とさせていただきます。

Q.3 新型コロナウイルス感染症に、不安に思っていることや、悩んでいることを教えてください。（自由記述）

【回答数】410件（一部を紹介します）

- 市・県の制度に関する不安**
 - ▶市としての対応に不安を感じる。市独自の施策を打ち出してほしい。
 - ▶市民に対して経済的支援を迅速に対応してほしい。
 - ▶正しい情報を配信してほしい。情報発信が遅い。
- 子どもに関する不安**
 - ▶オンライン学習の環境を早急に整備してほしい。
 - ▶平等に教育を受けるためにも、子どもたちに財源をあててもらいたい。
 - ▶子どもたちのストレスもたまり本を読む機会が増えた。図書券を配布してほしい。
- ウイルス感染に関する不安**
 - ▶自分が無症状感染者ではないかと不安になる。
 - ▶現在妊娠6か月なので、もしコロナになったら入院できる病院があるのか不安。
 - ▶母子家庭であり、自分がコロナに感染した時に高齢の両親を頼るのは厳しい。
- 生活（資金）に関する不安**
 - ▶子どもが家にいることで光熱費、食事、消耗品など出費がかなり増えた。
 - ▶安心できるような金銭的補助や妊婦に対するコロナ対策を強化してほしい。
 - ▶独自に水道料金の免除や救済金の給付をしてほしい。

